

第7回 子育て応援!  
わくわくフェスタ  
テーマ『おかげさま』伊勢でつながるありがとう

日 時 : 平成25年2月16日(土)~17日(日)10:00~16:00

会 場 : 県営サンアリーナ(伊勢市朝熊町鴨谷4383-4)

主 催・共 催 : 三重県・みえ次世代育成応援ネットワーク

ブース出展数 : 106ブース(企業54、団体43、行政9)

ステージ発表 : 22組

運営ボランティア : 延べ339人(企業7、学生318、サポーター14)

県内の企業や団体等が参画し、活動している「みえ次世代育成応援ネットワーク」と三重県が協働し、子ども・子育て家庭を応援する地域社会づくりに積極的に取り組んでいます。今年も多くの子ども・子育て家庭にエールを送る目的で「子育て応援! わくわくフェスタ」を実施しました。

## おかげさま

まわりの人のおかげで今の私たちがいます。受けた助力や親切に対して感謝の意が「おかげさま」です。「みえ次世代育成応援ネットワーク」に賛同していただき、地域の社会貢献に尽力していただいた企業・団体の方々や、会場を盛り上げていただいた過去最多のボランティアの方々で開催2日間で27000人にのぼった来場者の方々の「おかげさま」と「ありがとう」の気持ちで会場がいっぱいになりました。この「わくわくフェスタ」を通じて、地域や家族の絆をあらためて感じる事ができた2日間でした。

今回のテーマ『「おかげさま」伊勢でつながるありがとう』でオープニングを飾りました。



## ブース出展



たくさんの企業や団体が子ども向けの遊びやものづくり体験などたくさんのブースを展開していただき、子どもたちは色々な遊びや学びを体験できました。なかでも、今回のはたらく車は「はしご車」が展示されました。空高く伸ばしたはしごを見て、子どもたちから「わあ〜！高いなあ！」と歓声が上がりました。その他ショベルカーや地震体験車など、私たちの知らない場所での活躍を知ることができました。

## あそびひろば



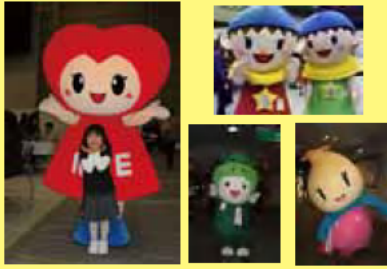
大学生が企画運営する「あそびひろば」。メインアリーナ会場内で、ミニ運動会や大型パズルなどの集団あそびや大型紙芝居などのおはなし会を楽しみました。子どもたちは、大学生のお兄さん、お姉さんたちといっしょに、踊ったり、かけまわったり……、笑顔いっぱいの楽しい時間になりました。大学生ボランティアの方々がいつも笑顔で、優しく子どもと接している姿が印象的でした。

## イベントステージ



サブアリーナのステージでは、終日さまざまなパフォーマンスが展開されました。子どもたちによる和太鼓演奏は、力強いパチさばきで「ドオオ〜ン」と地響きのようで豪快でした。聞いている私たちの体の中に音が浸透し、気持ちがワクワクしました。全員でぴたっと合わせたリズムや決め姿は格好良く、観客席からの大きな拍手はなかなか鳴り止みませんでした。曲に合わせた創作ダンスやバレエは、楽しく優雅で見ごたえがありました。斎王の舞は、地域の伝統芸能を受け継いだ子どもたちがみごとに踊りを披露しました。おごそかで格調高い舞に感動しました。

### ゆるキャラ スタンプラリー



会場内に19体のゆるキャラが集まりました。子どもたちは、ゆるキャラを探してスタンプを集めました。「いた〜！」ゆるキャラを見つけると大喜び。スタンプを押しもらい、3つ集めると「チャレンジコーナー」でゲームができます。成功したら素敵な景品がもらえました。

### もったいない プレゼント



毎回大好評なのが、このリユースプレゼント。子ども服や絵本の提供の呼びかけにこたえてくれた会員企業の社員や市町の職員から、今年は3800点もの品物が寄せられ、子育て家庭にプレゼントすることができました。参加者は口々に「子どもは成長が早くて、すぐに服のサイズが合わなくなるので、無料でもらえると助かります」「子どもが絵本好きでポロポロになる。きれいな絵本をいただけるなら嬉しい」など、次回の開催を心待ちにされている方もいました。

### みえ次世代育成応援 ネットワークコーナー



子育て応援！わくわくフェスタ実行委員会が企画運営した「ハイハイジャンプリ」は、59人の可愛い赤ちゃんたちがゴールのパパやママを目指して5 m コースをハイハイで競争しました。一生懸命ハイハイする子、座り込んでしまう子、ゴール直前でスタート方向に戻ってしまう子を見て、会場内は声援と笑いに包まれました。「こどもスタッフ」は104人の子どもが来場者に風船をプレゼントしたり、「わくわくフェスタ」のパンフレットを渡したり、今年も大活躍しました。

### 取材を終えて…

「わくわくフェスタ」は、企業や団体等の出展ブースで、たくさんの催し物は子どもだけでなく大人も楽しんでいただけたようでした。会場内のボランティアスタッフの方々は、いつも明るく来場者に笑顔で接していて、見て楽しい来て嬉しい会場の雰囲気盛り上げていただきました。ステージでは、一生懸命練習してきた子どもたちによるパフォーマンスはすばらしく、見ている私たちも時間を忘れるほど。毎回人気企画の「もったいないプレゼント」の子ども服や本は、新たな家庭で活躍することでしょう。「わくわくフェスタ」は、たくさんのあたたかい気持ちがいっぱい詰まった「おかげさま」と「ありがとう」の集大成イベントとなりました。今回のテーマである「おかげさま」の気持ちをいつも忘れず、子どもが明るく安心して暮らせる社会を、私たち大人がネットワークを通じ協力して作り続けていくことが、誰にでもできる次世代育成応援になるのだと思いました。今から次回の「わくわくフェスタ」がとっても楽しみです。